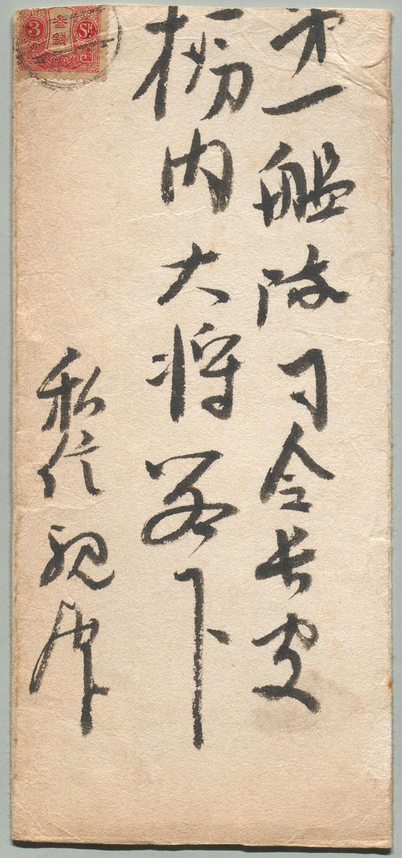
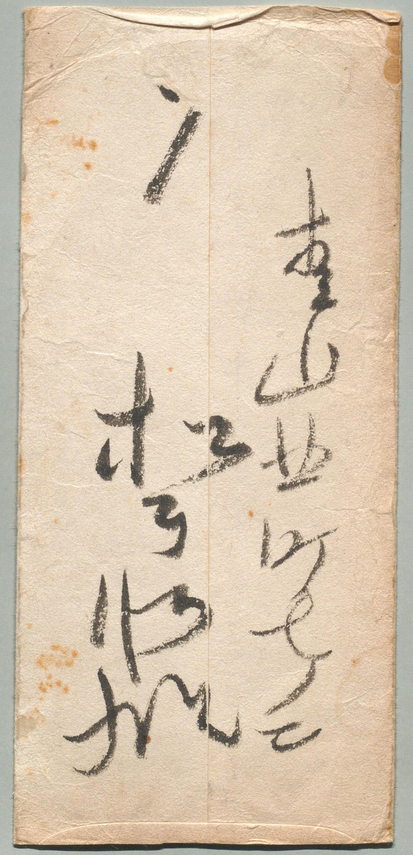
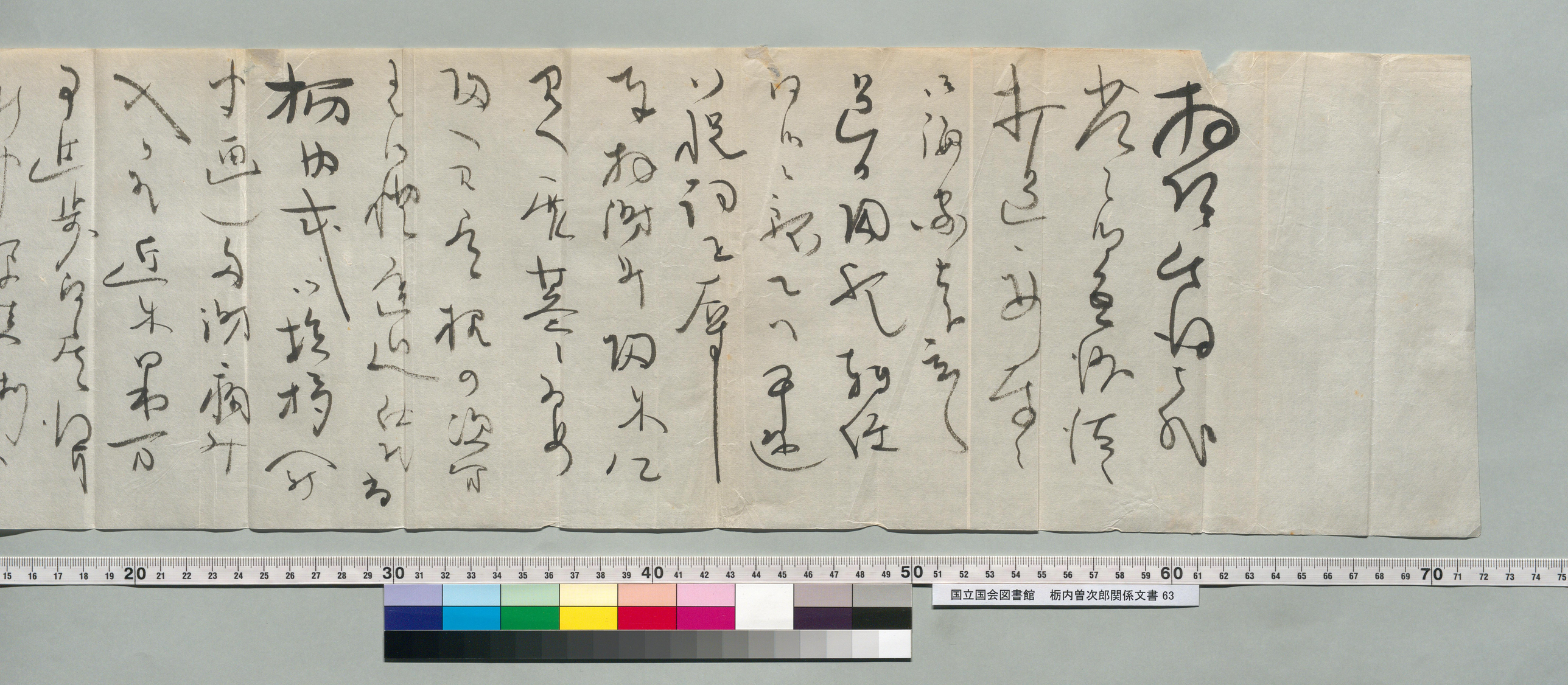


国立国会図書館　栃内曽次郎関係文書 63



国立国会図書館　栃内曽次郎関係文書 63

国立国会図書館　栃内曽次郎関係文書 63



国立国会図書館　栃内曽次郎関係文書 63

栃内武は旅行（外
才通）にて病気
入りし近来果而一万
手紙出し可べく候
引オ学ま御へ
師へ栃尾実作
いにしへて行かす大人の
おキャつことマイん羽の
畝紙に気付れ
キャンとはやまま
すむ中国中将行
の流れは失いまいい
あくと行て下
宗太郎ゟ御を以
七月二十一の夕より
父に贈まゐらせ
候かしこ
吉日
下
仁帆
栃内老翁下

引すなまし御は
師に抱月氏作、
は決して行かず大人の
わっキャつとマイん程の
脱線を免れ
キャキャとはやきま
すこし中肉中背行
の姿相は失はない
あいを信じて
果物を恵まれ
七月二十一の日生れ
久々に燃さめたく
御めでたく
十二月
下　収楓
栃内老兄下